

令和5年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰 (産業廃棄物関係事業功労者)

環境省では、廃棄物発生量の抑制や再使用、再生利用の推進に顕著な功績があった個人・企業・団体等を表彰し、その功績を称えとともに、循環型社会の形成推進に資することを目的として、平成18年度より環境大臣による表彰を行っています。

令和5年度 産業廃棄物関係事業功労者として、多年に亘る堅実な行動と実績が評価され、千葉県から2名の方（千葉県協会員）が受賞されました。

千代田鋳砕株式会社 鷺野谷工場長 部長 坂口 浩氏

産業廃棄物「鋳さい（電炉スラグ）」の収集運搬および中間処理を行う千代田鋳砕株式会社に入社、以来42年の長きにわたり、廃棄物の適正処理および減量化に尽力してきました。平成15年に鷺野谷工場の工場長に就任、工場全般の安定操業、ISO9001(2005年取得)ISO14001(2006年取得)の維持管理・改善活動の現場の長として、指揮管理業務を担当しています。

限りある資源を有効活用するために、各種法令を遵守し、鉄鋼連盟・スラグ協会のガイドライン及び管理指針に基づく品質管理を徹底してきました。地球環境保全への意識が高まるなか、電炉メーカーから排出される鋳さいの100%再利用を実現するなど、循環型社会の構築に大きく貢献しました。

また、職長としての職責を担い「豊かな人材育成が社会奉仕」として、社員への教育・訓練、法的資格の取得を推進しています。そして、産業発展の陰には、企業の重要な資産である「労働者」を守ることが必要と、平成20年には安全衛生管理の組織化を図りました。積極的に安全作業の指導・推進に努めることにより、現在まで無事故・無災害を継続中です。

坂口氏の多年に亘る堅実な行動と実績が評価され、今回の環境大臣表彰に至りました。



美しい地球を守るため、
循環型社会をつくって
いくのは私たちです。



令和5年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰 (産業廃棄物関係事業功労者)

株式会社京葉興業 取締役執行役員専務 水内 郁夫 氏

株式会社京葉興業は昭和39年から廃棄物を扱う老舗で、建設汚泥からや有機性汚泥、固形状・液状のものまで広く取り扱っています。水内氏は昭和60年に入社、営業職からスタートしました。その当時は、バブル景気の消費増大や生産活動の拡大により、廃棄物排出量が増加し続けており、廃棄物を適正に処理していくのも手さぐり状態でした。

課題解決のための法改正が繰り返し行われる中で、常に新しいスキルや知識を習得するように心掛け、時世に合った廃水処理や廃棄物処理などの環境プラントの運営等、幅広い案件を担当してきました。その豊富な知識と経験が認められ、平成14年に同社の取締役に就任しました。

社会が大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済システムから脱却し、3R（発生抑制（Reduce）・再使用（Reuse）・再生利用（Recycle））の循環型社会が構築される中で、省エネルギー化や再資源化を積極的に進めてきました。また、産業廃棄物処理業は社会インフラを維持する大切な静脈産業であると同時に、廃棄物は資源その資源から製品をつくる動脈産業でもあると強く認識しています。

水内氏が取締役を務める株式会社ビー・アール・クリエイトでは、食品工場で発生する有機性汚泥や植物性残渣を丁寧な工程でじっくりと完熟させることで、農地用の堆肥として生まれ変わり、製品として販売しています。「その堆肥を使用してよりよく育った農作物の収穫は大きな喜びであり、こうして循環型社会の一助となることは苦労の甲斐がある」と語っていただきました。

平成30年5月より一般社団法人千葉県産業資源循環協会の理事に就任し、業界の発展に寄与するとともに、地球環境を維持するためには、社会環境の変化に弾力的に対応できる後進が必要と人材育成にも力を注いでいます。

